

昭和30年～40年

写真で見る10年の足あと

◎ 十年ひと昔という言葉がありますが、新しい金木町が誕生してからとして正しく十年、ひと昔過ぎたわけ……

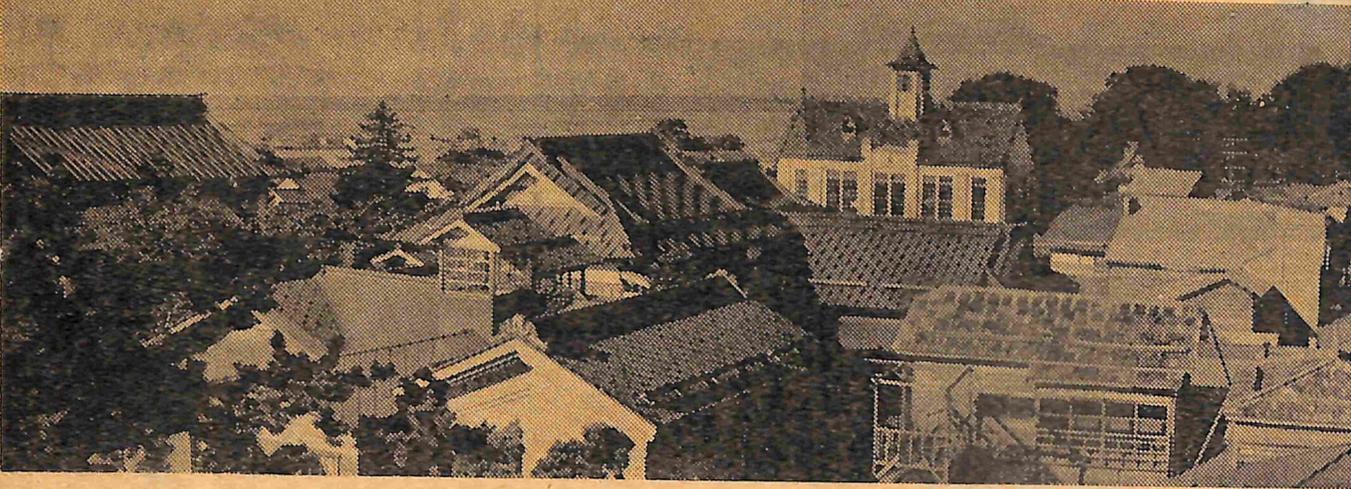
◎ ……です。いうまでもなく、わが金木町も青森県も、日本もそして世界も大きく変わりました。時は断然なく過……

◎ ……ぎ、文化も絶えず進歩を続けます。

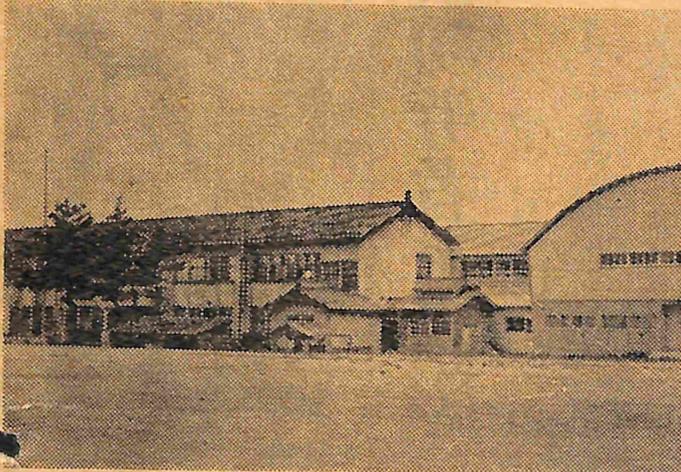
◎ ……しかし、過去あつての現在であり、現在あつての将来であることを思えば、私たちは、さらにいつその前……

◎ ……進と繁栄を築くために、過去を見つめる一瞬があつていいはずだと思ひます。

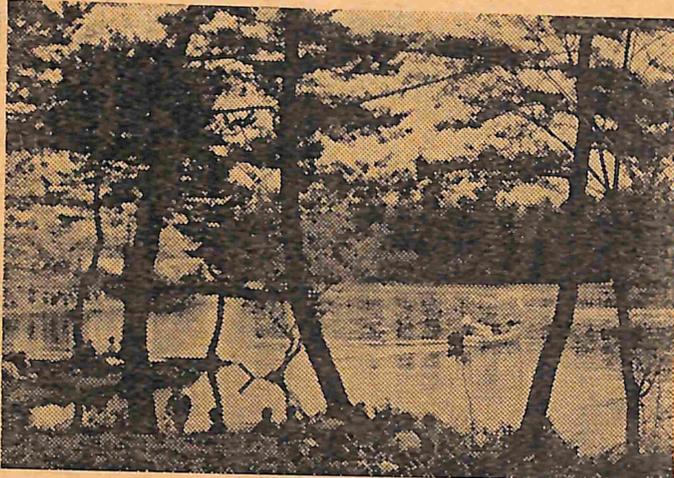
◎ ……そこで、このページでは、金木町の過去十年間のおもなできごとを写真で見ることとしましょう。



〔金木町の中心部……役場屋上より（昭和39年撮影）〕



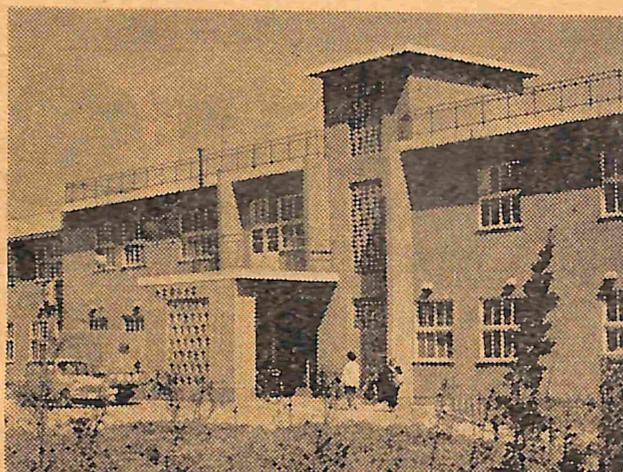
【金木高等学校……昭和30年9月完成。昭和23年五農分校として発足し、昭和27年組合立として独立。昭和37年県立に移管され、今や名実ともに郡北高等教育の中心となっている】



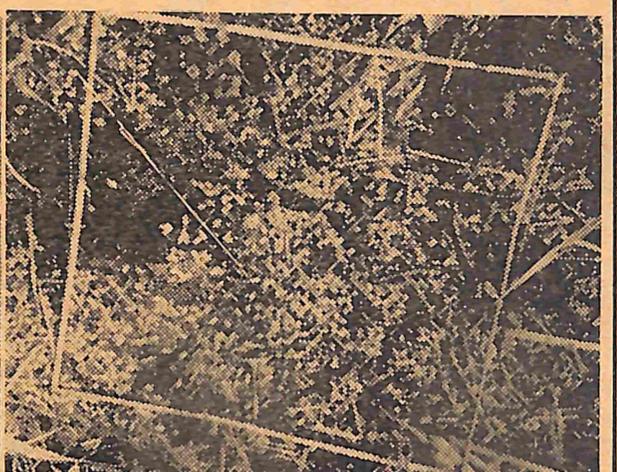
【県立芦野公園……昭和33年4月に屏風山・権現崎県立公園地区に指定。その後、動物園、梅園の設置、太宰治碑の建立など、施設の充実に力を入れている】



【芦野児童動物園……昭和36年4月開設。さる、くま、鹿、くじやくなどを収容、こどもたちから喜ばれている】



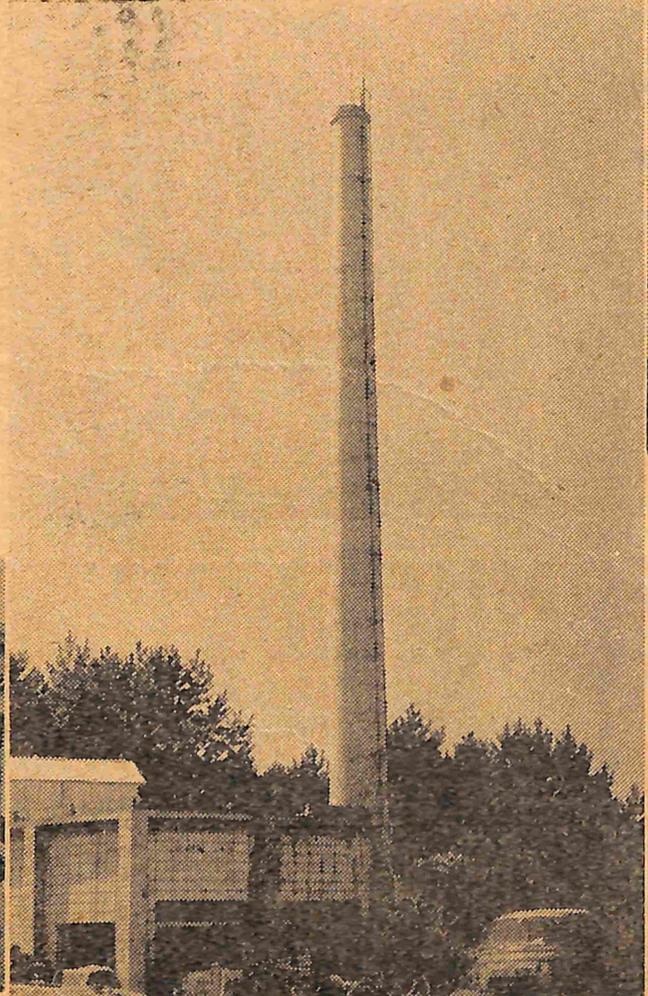
【公立金木病院……昭和37年8月完成。昭和33年10月、金木、中里両町の組合立として発足、昭和34年11月から工事にとりかかり、4年がかりで完成したもので郡北一の総合病院】



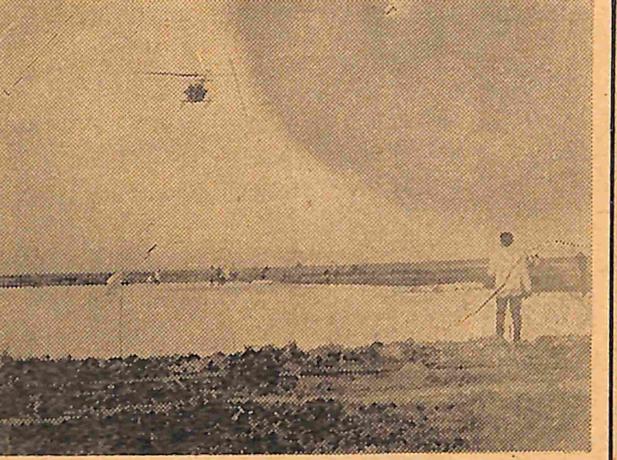
【雹害……昭和37年9月11日、川倉、藤枝などに雹が降り、福、りんご、畑作などに9千万円以上の被害を与えた。町では被害農家に町税の減免、利子補給などの対策を講じた】



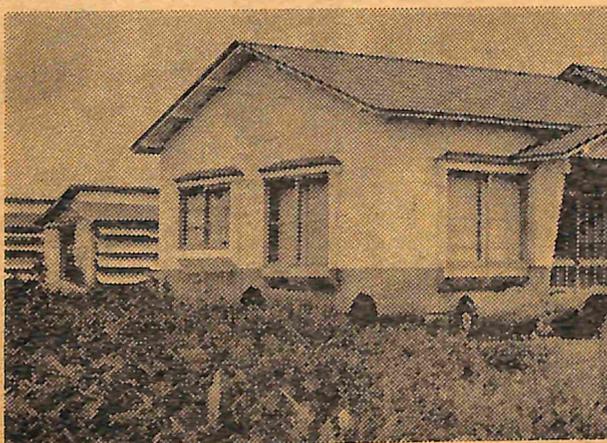
【津島次官小田川ダム現地視察……昭和37年10月、津島農林政務次官（現参議院議員）は小田川ダムの現地視察に訪れ、小田川ダム建設の早期着工の見通しが明るくなった】



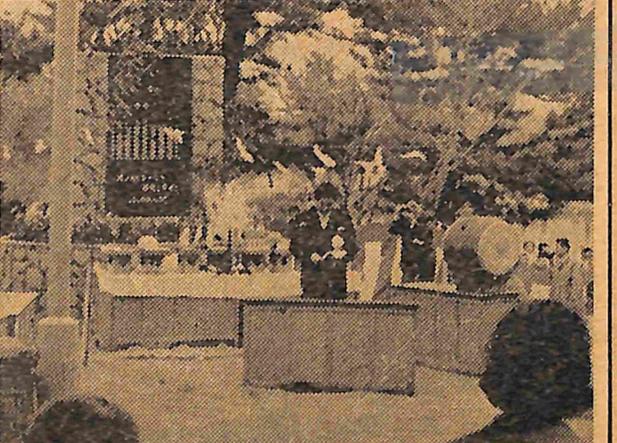
【ゴミの焼却場……昭和39年10月完成。建設場所は夏取りんご園の北側で、1日約5トンの処理能力があり、環境衛生の向上に力を発揮している】



【弘大農場の空中直播……昭和38年5月、弘大金木農場でヘリコプターによる空中直播の試験を実施。近代化農業の「さきがけ」として注目された】



【金木農協の育すうセンター……昭和39年3月完成。県の集団養鶏地帯造成事業の指定を受け、事業費830万円で実施。年間2万5千羽の育すう能力がある。西北養鶏センターとともに地域養鶏振興に大きく寄与している】



【太宰治碑……昭和40年5月完成。太宰治は金木町が生んだ唯一の作家であり、その碑の建立は長い間の懸案であった。阿部合成画伯の独特の設計は好評を博している】